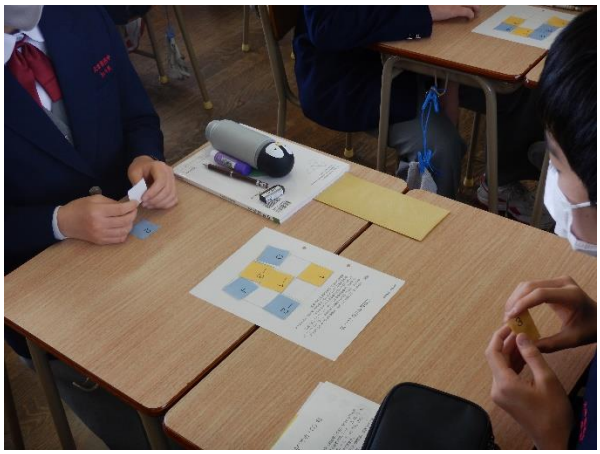
三目並べで令(0)和

校内の授業を参観していたら、面白い授業に出会いました。２年生の数学の１回目の授業でした。

なんだろうかと覗いてみたら、正の数、負の数、いわゆる(＋)(—)の復習を兼ねたゲーム形式の授業でした。

持ち札は、先手が【－４、－２、０、２，４】の５枚、後手が【－３、－１、１，３】の４枚です。これを交互にマス目に並べ、たて、よこ、ななめのいずれかの和（足した数）が『０』になった方の勝ちというゲームです。見ているだけで楽しいゲームで、私も思わず参加させていただきました。頭の中で、いろいろな計算がうず巻きます。『あれとあれを足すと〇だなぁ。』『相手は△をもっているから、□を置くとまずいなぁ』とか…。楽しみながら正負の数の計算をするという授業でした。もちろん、子ども達の目は輝いており、素敵な授業でした。このような授業であれば、計算が苦手な子でも、楽しく計算ができるようになると思います。

【はじめに代表生徒と先生で試しの勝負】



【真剣勝負中】

【皆の頭の中は、＋と－の数字と計算が入り乱れています】

※ あるクラスの学級だよりから…

学級だよりを発行し、担任の先生の思いを伝えている先生がいます。ある先生の学級だよりに「いいな」と思う文章をみつけましたので、紹介します。

気配りのできる生徒が多く、『さすが3年生』と感じる場面が多々あります。

ほんの短い１文ですが、このクラスの良さや温かさが感じられる文でした。この文章のように、どのクラスも温かみのあるクラスになってほしいと願っています。